

(社)北海道臨床工学技士会ニュース

NO. 80

ホームページ <http://hcea.umin.ac.jp>

事務局へのお問い合わせは上記 HomePage お問い合わせフォームより

発行人：真下 泰

〒004-8618

札幌市厚別区厚別中央2条6丁目

札幌社会保険総合病院 ME部

TEL 011-893-3000

FAX 011-893-4001

第18回日本臨床工学会

及び 平成20年度社団法人日本臨床工学技士会総会

in Akita



テーマ

『かけがえのない生命(いのち)を
Supportする臨床工学技士』

会期：平成20年5月17日(土) 18日(日)

会場：秋田市文化会館 (<http://www.city.akita.akita.jp/city/ed/ch/>)

秋田県秋田市山王7丁目3-1

学会長：熊谷 誠(秋田赤十字病院 医療技術部 臨床工学課)

事務局：秋田赤十字病院 医療技術部 臨床工学課

第18回日本臨床工学会及び平成20年度の日本臨床工学技士会総会が開催されます。今年は『かけがえのない生命(いのち)をSupportする臨床工学技士』をテーマに、秋田で行われます。この機に是非道内からも多数のご参加をお願いいたします。プログラム等詳細は第18回日本臨床工学会ホームページ(<http://jacet18.kera.jp/>)をご覧ください。

平成 20 年度診療報酬改定において 臨床工学技士の技術料が示されました

【Ⅲ-4 (医療安全の推進と新しい技術等の評価について) -①】

医療機器等の安全確保に係る評価

骨子【Ⅲ-4-(1)】

第1 基本的な考え方

平成18年6月の医療法改正等を踏まえ、医療機関における医療機器の安全確保や適正使用を一層推進するため、特に安全管理の必要性が高い生命の維持に直接関与する医療機器の専門知識を有する臨床工学技士の配置について評価する。

第2 具体的な内容

医療機器の安全対策に係る評価を新設する。

新 医療機器安全管理料1 50点(1月に1回)

〔算定要件〕

医師の指示の下に、生命維持管理装置の操作及び保守点検を行う常勤の臨床工学技士を1名以上配置し、医療安全対策の体制を整備している医療機関において、患者に対して、生命維持管理装置を用いて治療を行った場合に算定する。

(対象となる医療機器)

- ア 人工心肺装置
- イ 補助循環装置
- ウ 人工呼吸器
- エ 血液浄化装置(人工腎臓を除く)
- オ 除細動装置
- カ 閉鎖式保育器

※ 放射線治療機器の保守管理、精度管理及び照射計画策定の体制の評価を目的とした医療機器安全管理料2の創設については、「Ⅲ-1-① 放射線治療の質等の充実について」を参照のこと。

第13回北海道東北臨床工学技士会連絡協議会が開催されました

(道6県及び日本臨床工学技士会) 於：アパホテル&リゾート札幌

日 時：平成20年2月23日(土)

協議会：16:00～18:00

参加者：23名

技士会名	協議会参加者	
青森県臨床工学技士会	会長	勢州谷 忠昭
	理事	丹代 朋久
	理事	山崎 章生
	事務局長	佐藤 安一郎
岩手県臨床工学技士会	副会長	菊地 雄一
	副会長兼事務局長	浅沼 慶彦
秋田県臨床工学技士会	会長	熊谷 誠
	理事	橋村 春和
	理事	守澤 隆仁
	事務局長	佐藤 賢行
宮城県臨床工学技士会	会長	三浦 勝明
	事務局長	鈴木 一郎
山形県臨床工学技士会	会長	佐々木 豊樹
福島県臨床工学技士会	副会長	氏家 憲一
	理事	先崎 英司
	事務局長	橋本 潤一
日本臨床工学技士会	組織委員長	出口 英二
	北海道東北組織委員	日沼 吉孝
北海道臨床工学技士会	会長	真下 泰
	副会長	室橋 高男
	理事	石川 幸広
	理事	脇田 邦彦
	事務局長	寺島 斉

議案・報告事項

各道県技士会活動報告と審議事項の検討

第18回日本臨床工学会(秋田)開催について

(社)秋田臨床工学技士会 会長 熊谷 誠

(社)日本臨床工学技士会 組織委員会より

「第3回意見交換会について」 組織委員長 出口 英二

その他(人材活性化委員会報告、次回開催県挨拶：青森)

第13回北海道東北臨床工学技士会 連絡協議会を終えて

広報担当理事 石川幸広

この連絡協議会は、北海道が参加して2回目を迎える会であり各道県活動報告では総会・学会・セミナー等の詳細な報告のほか、目を引いたものとしてはダイアライザー工場見学やHDF補液製剤製造工程の見学、又親睦を深めるための会（ボーリング、忘年会等）が技士会単位で行なわれていました。又臨床工学技士のPRを兼ねて高等学校進路指導者向けに学校訪問する活動も行なわれていました。

第18回日本臨床工学技士会開催については秋田県技士会会長から演題数が300を超え2会場で行くと報告があり、個々の技士の知識・技術に向けての意識向上の表れではないかと思えます。本会には日本臨床工学技士会組織委員長である出口常務理事が参加されましたが、現会員構成の約70%は若手会員であり、組織力向上には若手会員の斬新且つ活力ある提案が必要と述べていました。先頃、人材活性化委員会（Y-Board）が新設され若手会員を対象としたアンケートの回収率が36.5%という結果でしたが、経験豊かな役員と若手会員が対になって行動を起こす事で、これからを担う若手役員の育成と引継ぎが達成できる事と思えます。意見交換の場では、一般社団法人・公益社団法人への取り組みについても北海道臨床工学技士会の取り組みを参考にした意見交換も行なわれました。

最後に、地方・地域レベルでの技士会がまとまりを持って連携していく事で、日本臨床工学技士会の更なる発展と臨床工学技士の社会的貢献の向上が得られるものと確信しております。



連絡協議会の様子

第2回医療安全セミナー終了



去る2月24日(日)北大学術交流会館講堂におきまして、第2回目となる医療安全セミナーが開催されました。予期せぬ前日からの悪天候のため交通機関も麻痺し、講師の先生方も到着できない等のトラブルもありましたが、約150名の参加者のもと、どうにか無事終えることができました。講師の先生方や参加者の皆様、スタッフの皆様はこの場を借りて御礼を申し上げます。ありがとうございました。

…………… お詫び ……………

前日からの悪天候のためプログラムの変更をせざるを得なくなり、関係の皆様、参加者の皆様に大変ご迷惑をお掛けしましたこととお詫び申し上げます。

3~5月の予定表

下記に示すセミナー、学会等が開催されます。皆様多数の参加をお願いいたします。詳細は(社)北海道臨床工学技士会ホームページをご覧ください。

2008年5月17日(土)、18日(日)

「第18回日本臨床工学会」

会場 秋田市文化会館

2008年5月25日(日)(予定)

「平成20年度(社)北海道臨床工学技士会総会」

会場 北大学術交流会館

RM ニュース

< 警報音解除で異常気付かず 患者、意識不明 >

徳島県病院局は9日、県内の病院で、患者のモニターの警報音が解除されていたため、心停止するまで血液中の酸素濃度の低下に気付かない医療ミスがあったと発表した。患者は意識不明の状態だという。

病院の説明によると、患者は県内の70代男性。昨年10月に脳腫瘍(しゅよう)の手術を受けた後、肺炎などの感染症で状態が悪化した。12月末に気管内チューブにたんがつかまって血液中の酸素濃度が減少したが、数値の異常を知らせるモニターの警報音が解除されていたため鳴らなかった。16分後に心停止の警報音で看護師や医師が駆け付けて対処したが、意識は戻らないという。

脳腫瘍手術でも、開頭の場所が2センチずれたため腫瘍を発見出来ず、摘出できないミスがあった。

モニターは、直前に使っていた患者の死亡時に警報音が解除されたが、データ保存のため設定を戻しておらず、今回の患者に使う際に確認もしなかったという。

(1月9日：共同通信社)

< 呼吸器付け忘れ患者死亡 >

大阪府の病院で昨年12月、看護師が寝たきりの女性患者のケアをしていた際、一時的に外していた人工呼吸器を付け忘れ、患者が死亡していたことが1日、分かった。八尾署は業務上過失致死容疑で捜査している。

調べや病院の説明によると、昨年12月17日午前9時半ごろ、20代の女性看護師2人が乳がんで入院していた女性患者の体をタオルでふくなどしていた際、作業の邪魔にならないよう人工呼吸器を一時的に外した。

作業終了後、看護師らは人工呼吸器を付け忘れ、約1時間半後に患者がぐったりしているのを見つけた。主治医が蘇生(そせい)措置を施したが患者は死亡した。

人工呼吸器は体から外れた際、異常を示すアラームが鳴らないようにするため、呼吸器の機能をチェックする「テスト肺」という機器につながっていた。主治医は患者が自発呼吸をしていたため30分は外しても問題ないと判断していた。

同病院は「ミスは明らかで警察や行政にも届けた。院内で再発防止に取り組んでいる」とする病院長のコメントを発表した。

(2月1日：共同通信社)

< 透析中にチューブ外れる 66歳男性重体 >

千葉県香取市の病院で、人工透析治療中に血液を循環させるチューブが透析装置から外れ、同市の男性(66)が意識不明の重体に陥っていたことが22日、分かった。

病院によると、装置は昨年8月に導入。チューブは引っ張るなど少しの力で外れ、ロック機能もない。警報装置がついているが、当時は作動しなかったという。

同病院が医療事故として20日、香取署に届け、同署が業務上過失致傷の疑いで捜査している。

男性は14日午後から集中治療室で人工透析を受けていた。翌15日午前1時45分ごろ、担当の看護師が血液を体に戻すチューブが透析装置から外れているのを見つけた。約2リットルの血液が床に漏れていたという。同1時すぎに看護師がチューブを確認した際には異常はなかった。

男性は依然として意識不明。同病院の事務長は「男性には誠心誠意対応し、再発防止に全力を挙げたい」と話している。

(2月22日：共同通信社)

緊急情報

先日バクスターが中国において製剤していたヘパリンがアレルギー反応がでて回収に入ったとの情報がありましたが、本件につきクラス回収情報が発出されてます。

扶桑薬品工業の他、JMS、テルモ株式会社、株式会社大塚製薬工場製品も対象となりました。

各施設におかれましては、各部署に確認の上、各企業の担当者へ確認して下さい。

(以下 マスコミ資料)

2008年2月18日の新民報の報道によると、米国食品医薬品局(FDA)は米バクスター社の血液抗凝固薬「ヘパリン」の投与が原因と見られる重篤なアレルギー症状が確認された、と発表した。これまでに300人以上が発症し、4人の死亡が報告されている。

FDAの関連情報

<http://www.fda.gov/cder/drug/infopage/heparin/default.htm>

扶桑薬品

<http://www.fuso-pharm.co.jp/>

厚生省から出された文書(pdfファイル)

<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2008/03/dl/h0310-2a.pdf>

クラス回収情報

<http://www.info.pmda.go.jp/kaisyuu/rcidx07-2m.html>



学生の頃

就職してからこれまで2人の学生さんが病院見学に来てくれた。学生の時は意味がわからなくても、しっかり見ておけば後からピンと回路がつながるように理解できることがある。チャンスがあれば色々な施設を見せていただくと良いと思う。

自分が学生の頃はどうかだったかなあと思い出しながら説明するわけだが、ほんの数年前のことなのに既にあまり覚えていなかったりする。先生方には申し訳ないのだが、あんまり役に立たなかった授業のほうが印象に残っていたりする。一般教養的な授業は、なるべく臨床工学に関連するような内容で講義していただけると学生も興味を惹かれると思う。

就職してから、学生の頃にもう少し勉強しておけば良かったと思ったのが実習全般である。私は今の職場では人工呼吸器と HBO、機器管理が主な業務内容だが、機器管理については例えば授業でポンプを分解したり詳しい構造を勉強したりといった記憶が無い。ただ実習室に常時そういった機器類は置いてあるので、空き時間に先生にお願いして教えていただける環境にはあった。現在は当時より臨床現場を知る先生が増えているので、学生さんは先生をどんどん活用(?)してほしい。

それからパソコンの授業は、地味だが役に立っている気がする。職場では Word、Excel は「使えて当たり前(まして CE なら)」と思われる。それから「自分で今すぐ機器の取り扱いマニュアルを作らなければ!(作らないと自分が立会いで超残業するはめになる!)」といった事態がたまにある。業者が資料を送ってくるのに時間がかかる、そもそもメーカーのマニュアルがあっても見にくい、ポイントがわかりにくい場合も多い(特に海外メーカー)。そういう場合は速攻で機械周りの写真を取って、PowerPoint で仕上げることになる。発表資料などはゆったり時間をかけて作れるが、こういったケースでは短時間で見やすく仕上げる必要がある。私は専門学校に入るまで PowerPoint に触れたことがなかったので、やっておいてもらって本当に良かった。

私も最近は残業が増えてそこそこ忙しいが、学生の頃はアルバイトと勉強の両立だったので正直今のほうが体は楽である。ただ CE にかかる責任は重いので、精神的には比べ物にならない。精神的に追い込まれたり体調を崩したりで辞めていく職員もいる。仕事とプライベートの切り替えやストレス発散がうまくいかないと、責任を負いながら長く働くのは難しいのかもしれない。学生さんは勉強もしつつ、遊べる時は思いっきり遊んでメリハリのある学生生活を送ってほしい。

(4 年目 A)

経験と実績から生まれた ME 機器管理システム

HOSMA[®]

Hospital Management System

詳しくはネットで ▶▶▶ www.hosma.net

株式会社ムトウテクノス 札幌市中央区北2条西17丁目1-2 TEL: 011-644-6400



NIKKISO
MODEL **DAD[®]-50** DRドライブ装置

日機装株式会社 医療機器カンパニー www.nikkiso.co.jp

札幌支社 〒060-0061 北海道札幌市中央区南一丁目11-327 王子不動産札幌ビル
TEL 011-261-5561 FAX 011-251-8820

北見営業所 〒090-0051 北海道北見市高平栄町1-11-34 アクティブウェルズ211 番部2号室
TEL 0157-22-5811 FAX 0157-22-5722



持続型赤血球造血刺激因子製剤
生物由来製品、劇薬、指定医薬品、処方せん医薬品
(注意・医師等の処方せんにより使用すること)

ネスブ[®] 静注用
10・15・20・30・40・60・120 μg シリンジ

薬価基準収載 一般名:ダルベポエチン アルファ(遺伝子組換え)

効能・効果、用法・用量、禁忌(原則禁忌を含む)、使用上の注意の詳細は最新の添付文書をご参照ください。

KIRIN Pharma

キリンファーマ株式会社
[製薬販売元]
[文献請求先・製薬情報問合せ先]
お電話相談室
〒150-8011 東京都渋谷区神宮前 6-26-1
kirinmile.com

※登録商標 2007年11月作成



'TORAY' 「モイストタイプ」

透析は新たなStageへ

トレライトCS
IV型

ポリスルホン製中空糸型透析器

特長
① 優れた除去性能
② ドライタイプと同等の取扱性
③ 安全性と環境への配慮

販売業者 **東レ・メディカル株式会社**
東京都墨田区錦糸一丁目2番1号 アルカセントラル21F 〒130-0013

製造販売業者 **東レ株式会社**
人工臓器事業部
東京都中央区日本橋富町二丁目1番1号 〒103-8666



「すべては患者様の満足のために」

APS-SA Series
優れた生体適合性と
高い溶質除去能を実現した
ポリスルホン膜のスタンダード

Vitabrant VPS-HA series
優れた低分子量蛋白自除去能を持つ
ビタミンE 固定化ポリスルホン
ダイライザー

Always Patients Satisfaction

Bio Harmony 生命の調和のハートビート

旭化成メディカル株式会社 <http://www.asahi-kasei-medical.co.jp>
〒101-8482 東京都千代田区神田美土代町9-1 TEL 03(3)25917729

透析事業部 東日本営業部
札幌営業所 〒060-0002 札幌市中央区北2条西1-11(マルイ札幌ビル) TEL 011(2)6115540



カワズミは透析治療をサポートしています。

透析患者さん一人ひとりの体質や症状を考慮、
幅広いニーズに適切に対応する。
カワズミの透析製品パリエーション。
カワズミは透析治療をサポートしてまいります。

川澄化学工業株式会社 本社 〒140-8555 東京都品川区南大井3-28-15 TEL (03)3763-1172
<http://www.kawasumi.jp>

PTA/バルーンカテーテル
K-フローバルーン カテーテル
医療機器承認番号:
214008ZZ005000000

ハイフラックスダイライザー
フリージアスダイライザー
PS-MW-UW-H・N
医療機器承認番号:
205008ZZ00516000

人工腎臓用血液回路
カーミライン
医療機器承認番号:
162008ZZ00522000





蛋白分解酵素阻害剤 (メシル酸ナファモスタット)

創薬、指定医薬品、処方せん医薬品[※]

創薬、指定医薬品、処方せん医薬品[※]

注射用 **フサン[®] 10** 注射用 **フサン[®] 50**

FUTHAN[®] 10 INJ. [薬価基準収載]

FUTHAN[®] 50 INJ. [薬価基準収載]

注) 注意—医師等の処方せんにより使用すること。

※注射用フサン10と注射用フサン50では効能又は効果が異なります。効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む使用上の注意等については、製品添付文書をご参照ください。

製造販売元 **鳥居薬品株式会社**
〒103-8439 東京都中央区日本橋本町3-4-1

資料請求先 **鳥居薬品株式会社 お客様相談室**
TEL 0120-316-834 FAX 0120-797-335 2007年5月作成



手動加圧方式で簡単な片手操作

「エレマノ血圧計」は、加圧に水銀柱方式と同じ手動方式を採用。送気球と本体が一体化したコンパクト設計なので、片手で簡単に操作でき、モーター音もしないため、夜間でも静かに測定できます。また、新技術「ダブルカフ方式」のオシロメトリック法の採用により、低血圧や脈の弱い患者様でもより確実に自動測定。

【患者様の病態に応じて選べる3つのモード】

- ① ノーマルモード (自動測定)
- ② スローモード (自動測定) ③ 聴診モード

販売元: テルモ電子血圧計H55 医療用具承認番号: 214008ZZ00037

テルモ株式会社 〒151-0072 東京都渋谷区徳ヶ谷2-44-1 <http://www.terumo.co.jp/>

© テルモ TERUMO. エレマノはテルモ株式会社の登録商標です。© テルモ株式会社 2008年1月



エレマノ血圧計
テルモ電子血圧計 H55

北海道工業大学工学部 医療福祉工学科

(平成 20 年 4 月から、医療工学部医療福祉工学科に改組予定)

IAB CATHETER
YAMATO 7.5Fr.
東京名大病院内カテーテルセンター Linear 7.5Fr.
YAMATO 7.5Fr.は、大動脈内バルーンカテーテル
Linear 7.5Fr.の愛称です。

循環器疾患と戦う人々の信頼できるパートナー

Datascope
CARDIAC ASSIST

E Edwards Lifesciences

大動脈内バルーンポンプ
CS100

エドワーズライフサイエンス株式会社

本社：東京都千代田区六番町2番地8 Tel.03-5213-5700 www.edwards.com/japan

販売名：大動脈内バルーンポンプ CS100
承認番号：216008ZY0018

販売名：大動脈内バルーンカテーテル Linear 7.5Fr.
承認番号：217008ZY00613

北海道臨床工学技士会ニュース

広報担当	仁友会 北彩都病院 旭川赤十字病院	臨床工学科 臨床工学課	石川幸広 脇田邦彦
編集委員	旭川医科大学附属病院 旭川赤十字病院 市立旭川病院	臨床工学室 臨床工学課 臨床工学室	宗万孝次 奥山幸典 窪田将司

印刷

岡本印刷株式会社
札幌市北区新川西2条1丁目
3番21号
011-766-2551